ICG 試験停滞率										
ICG-R										
検査	査オーダー									
患者	同意に関する要素	大事項	特記事項なし							
オーダリング手順 1			電子カルテ→指示①→検査→*12 機能糖負荷→							
		2								
		3								
		4								
		5								
検査に影響する臨床情報			1) ICGは光線に比較的不安定で、退色しやすいので、採血後冷暗所に保存し、でき							
			るだけ速やかに測定する。							
			2) 注射後の採血時間は正確に実施する。							
検査受付時間										
			8:15~16:00							
検体採取・搬送・保存										
患者の事前準備事項			空腹時採血							
			注射後の採血終了まで安静仰臥する。							
検体採取の特別なタイミング			インドシアニングリーン注射前に 0 分採血を行い、注射 15 分後に採血を行う。							
	検体の種類 採頭		取管名	内容物	採取量					
1	全血	10青		分離剤 5	r	nL				
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8			l							
検体搬送条件			室温							
検体受入不可基準			1)採取容器違いの検体							
			2) バーコードラベルの貼られていない検体							
			3) 量不足 (4) 採血時間が空にれていた) (2) (4)							
			4)採血時間が守られていない検体							
			5)粘性の強い検体							

保管検体の保存期間			保存不可								
検査結果·報告											
検査室の所在地			病院棟 3 階 中央検査部								
測定時間			当日中								
生物学的基準範囲			10%以下								
			EX 一般 122 : 「ジアグノグリーン注」								
臨床判断値			該当なし								
基準値				単位	%						
共通低値	共通高値	Ī	男性低値	男性高値	女性低値		女性高値				
0	10		設定なし	設定なし	設定なし		設定なし				
パニック値 高値 該当なし											
低值			該当なし								
生理的変動要因			特記事項なし								
臨床的意義			肝細胞の有する I C G (色素) を排泄・貯蔵など処理する機能の検査								

2 / 2 一般 58